

2021年10月入学  
東京農工大学大学院生物システム応用科学府  
生物システム科学専攻博士後期課程（博士）・  
食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）3年次編入  
国費外国人留学生・私費外国人留学生 学生募集要項

—ASEANにおける農工連携型の研究開発を推進するグローバルリーダーの養成—

大学院生物システム応用科学府博士後期課程・一貫制博士課程は、ASEAN諸国からの優秀な留学生を中心に、ASEAN地域のさらなる発展に必要となる高度な農学・工学研究力と技術力および社会実装能力を修得させることにより、国際的に活躍できる研究開発リーダーとなりうる人材を養成します。

## I 募集専攻および指導予定教員

### 1 募集専攻

- ・生物システム科学専攻（博士後期課程）
- ・食料エネルギーシステム科学専攻（3年次への編入学）

### 2 指導予定教員

- ・生物システム科学専攻（博士後期課程）

生物システム応用科学府教育研究分野（P11）の中から指導予定教員を選択して下さい（但し、※の教員を志望する場合は、※の教員へ連絡して下さい）。

- ・食料エネルギーシステム科学専攻（3年次への編入学）

以下の2種類の指導予定教員を選択して下さい。

#### ○教育指導教員

食料エネルギーシステム科学専攻教育研究分野（P12）の中から教育指導教員を選択して下さい。志望する研究指導教員については、教育指導教員に事前に必ず報告あるいは相談して下さい。

#### ○研究指導教員

生物システム応用科学府教育研究分野（P11）及び本学の工学府、農学府のいずれかの教員を研究指導教員とすることが可能です。志望する教育指導教員については、研究指導教員に事前に必ず報告または相談して下さい。

## II 募集人員

- |                   |    |
|-------------------|----|
| 1 大学推薦による国費外国人留学生 | 3名 |
| 2 私費外国人留学生        | 3名 |

## III 出願資格および条件

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 大学推薦による国費外国人留学生 | P2～P6 参照 |
| 私費外国人留学生        | P7～P9 参照 |

## IV 参考事項 P10 参照

## V アドミッションポリシーおよび教育研究分野教員一覧 P11～ 参照

### Ⅲ 出願資格および条件

#### 「大学推薦による国費外国人留学生」の出願資格および条件

##### 1 対象

大学院レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する者として。

※学業成績係数が2.30以上であり、奨学金支給期間中においてもこれを維持する見込みがある者として。さらに下記「(6) 語学能力」のいずれかの条件を満たす者として。

##### 2 国籍

日本国政府と国交のある国の者として。ただし、申請時に日本国籍を有する者は、募集の対象となりません。なお、申請時に日本以外に生活拠点を有する日本国籍を有する二重国籍者に限り、渡日時まで外国の国籍を選択し、日本国籍を離脱する予定者は対象として。

##### 3 年齢

1986年4月2日以降に出生した者として。

※上記年齢要件の例外は国籍国の制度・事情（兵役義務・戦乱による教育機会の喪失等）により資格年齢時に応募できなかった者と文部科学省が判断した場合に限られます。個人的事情（経済状況、家族の事情、健康状態、大学又は勤務先の都合等）は一切認めません。ただし、上記年齢要件を満たさないヤング・リーダーズ・プログラム修了生が博士後期課程への入学を希望する場合は、同プログラム修了後5年以内に限り、応募を認めます。

##### 4 学歴

日本の大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者として。なお、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、以下に該当する者として。

- 1) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(10月)の前までに取得見込の者。
- 2) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者。

##### 5 専攻分野

出身大学において専攻した分野又は関連した分野とし、受入大学で研究が可能な分野であること。

##### 6 語学能力

英語の能力を有する者として、以下のいずれかの条件を満たす者として。

###### ○英語

- ① 正規課程への入学時点で英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) のB2 相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
- ② 日本の大学院博士課程 (後期) への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。
- ③ ①相当以上の英語能力を有していると本学府において判断できる者。

##### 7 健康

日本留学について心身ともに支障がないと本学府が判断した者として。

## 8 渡日時期

2021年10月1日～10月14日までの間で本学府の指定する期日までに渡日してください。

## 9 その他注意事項

1) 次に掲げる事項の一つでも該当する者については対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。

- ① 渡日時及び奨学金支給期間において、現役軍人又は軍属の資格の者。
- ② 文部科学省又は本学府の指定する期日までに渡日できない者。
- ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（渡日後辞退者を含む）。ただし奨学金支給最終月の翌月から奨学金支給開始月までに3年以上の学業又は職務経歴がある者、又は最後に受給した日本政府（文部科学省）奨学金が日本語
  - ・日本文化研修留学生（帰国後に在籍大学を卒業した又は卒業見込みの者に限る。）、日韓共同理工系学部留学生、ヤング・リーダーズ・プログラム留学生のいずれかであった者はこの限りではない。なお、文部科学省学習奨励費（MEXT Honors Scholarship）は日本政府（文部科学省）奨学金留学生にあたらないため、過去に受給歴があっても応募可能。
- ④ 日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の2021年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者。
- ⑤ 申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍、又は在籍予定の者。ただし、現在、日本の大学等に在籍又は在籍予定の私費外国人留学生であっても、奨学金支給期間開始前に修了し帰国することが申請時において確実で、新たに在留資格「留学」を取得し渡日する者はこの限りではない。
- ⑥ 奨学金支給開始後に日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）から奨学金を受給することを予定している者。
- ⑦ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
- ⑧ 申請時に二重国籍者で、渡日時までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
- ⑨ 申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者。
- ⑩ 博士課程修了者については、学位取得を目的としない者。

2) 大学修了見込みで出願した者で、2021年9月までに卒業できない者は入学を取り消します。

3) 4学歴の1)に該当しない場合、事前に審査を受ける必要があるので、2021年1月12日までに本専攻の指導教員予定者に必ず申し出てください。

4) 日本留学中、日本の国際化に資する人材として、広く地域の学校や地域の活動に参加することで、自国と日本との相互理解に貢献するとともに、卒業後も留学した大学と緊密な連携を保ち、卒業後のアンケート調査等にも協力する他、帰国後は在外公館等が実施する各事業に協力することで、自国と日本との関係の促進に努める者を採用いたします。

## 応募手続

応募者は所属学部長等、有職者は所属長、無業者は出身大学の学部長を通して、下記の書類を2021年1月29日（必着）までに本学府の指導予定教員に提出してください。

### 1) 提出先

必ず、国際郵便等で本学府の指導予定教員へ郵送してください。また、個人としての応募は受け付けません。

### 2) 提出書類

- ① 日本政府奨学金留学生申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- ② 専攻分野及び研究計画（両面印刷）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- ③ 研究業績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- ④ 学位論文概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（修士論文の概要（和文もしくは英文600語未満にまとめてください。））
- ⑤ 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（東京農工大学学長宛てのもの。原則として所属大学の専用便せんを使用し公印を押したもの。）
- ⑥ 本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- ⑦ 最終出身大学（学部及び大学院）の成績証明書（出身大学で発行したもの。）・・・・・正本1部
- ⑧ 最終出身大学（学部及び大学院）の卒業（見込）証明書、学位記等証明書・・・・・・・・・・・・・正本1部
- ⑨ 最終出身大学において学業優秀であることを証明する学業成績資料等・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（例えば、GPA、ABCのクラス分け、具体的な順位（〇人中第〇位）等、最終出身大学における成績が明確に判る指標など。）
- ⑩ 【6 語学能力】のいずれかの条件を満たす根拠となる書類・・・・・・・・・・・・・正本1部  
（例：TOEFL、IELTS等の証明書）  
（語学力証明する書類がない場合は、至急指導教員予定者へご連絡ください。）
- ⑪ 健康診断書（原則として、書類提出日から遡り6か月以内に受診したもの。）・・・・・正本1部
- ⑫ パスポートの写し（取得済みの場合のみ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・写し1部

### 3) その他注意事項

- i) 申請書類は、すべて日本語又は英語により、出来るだけタイプを用いて、A4判両面印刷に統一して作成してください。（その他の言語により作成する場合は、日本語もしくは英語による訳文を添付してください。）
- ii) 提出書類は原則として返却しません。
- iii) 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎた場合は受理しません。
- iv) 提出書類及びその様式は変更することがあります。

### 4) 選考及び合格通知等

- i) 東京農工大学から推薦された国費外国人留学生候補者を、文部科学省が審査のうえ、奨学金留学生としての採用が決定します。
- ii) 合格通知は、文部科学省の通知に基づき、本専攻の指導教員予定者から本人に7月頃に通知します。
- iii) 授業及び研究指導は主として英語により行い、3年間で博士（工学）または博士（農学）、博士（学術）を修得させることを目的とし、在籍身分は正規の大学院生とします。

## 5) 奨学金

奨学金支給期間は2021年10月からの3年間です。また、2021年度の奨学金月額はまだ未定であるため、参考として2020年度の奨学金月額を以下のとおり示します。（なお、予算、物価等の状況により各年度で月額は変更を含め見直されます。）

2020年度実績 月額148,000円

ただし、大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されません。

なお、次の場合には、原則として奨学金の支給を取りやめます。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがあります。

- i) 申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- ii) 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
- iii) 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- iv) 大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。
- v) 学業成績等不良や停学・休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- vi) 「留学」の在留資格を新たに取得せずに「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- vii) 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く）の支給を受けたとき。
- viii) 採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき
- ix) 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- x) 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

## 6) 旅費

- i) 渡日旅費について、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港から成田国際空港又は受入大学が通常の経路で使用する国際空港までの下級航空券を交付します。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港使用料、空港税、渡航に要する特別税、日本国内の旅費等は留学生の自己負担とします。（「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された現住所とします。）また、国籍国以外からの航空券は支給しません。
- ii) 帰国旅費について、奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生については、本人の申請に基づき、成田国際空港又は受入大学が通常の経路で使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港までの下級航空券を交付します。
- iii) 帰国する留学生の日本での居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。なお、自己都合及び上記5)奨学金 i～x)の事由により奨学金支給期間終了月前に帰国する場合は帰国旅費を支給いたしません。

IV) 渡日及び帰国の際の保険料は自己負担とします。

V) 奨学金支給期間終了後も引き続き日本に滞在する場合（例：日本での進学、就職）、一時帰国する際の帰国旅費は支給しません。

## 7) 教育費

大学における入学検定料、入学金及び授業料等は東京農工大学が負担します。

## 8) 入学時に要する経費

- i) 入学検定料、入学料、授業料は徴収しません。

- ii) 学生教育研究災害傷害保険制度は、学生の正課および課外活動中における不慮の災害事故により身体に傷害を被った場合の補償制度であり、新入生は全員加入してください。  
保険料は、3年間分で2,600円です。
- iii) 学生賠償責任保険制度は、学生の正課、学校行事およびその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償制度であり、新入生は学生教育研究災害保険と共に全員加入してください。保険料は3年間で5,400円です。また、別途、消費生活協同組合への加入料の5,000円が必要となりますが、修了時に返金します。  
※なお、保険料、加入料は変更になる場合があります。

## 「私費外国人留学生」の出願資格および条件

### 1 対象

大学院博士課程レベルの外国人留学生として海外から留学する者及び在日の者で、本学生物システム応用科学府にて博士の学位取得を希望する者。

### 2 国籍

国籍は問いません。

### 3 年齢

年齢は問いません。

### 4 学歴

日本の大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者とします。なお、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、以下に該当する者とします。

- 1) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(10月)の前までに取得見込の者。
- 2) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者。

### 5 渡日時期

2021年10月14日までに渡日してください。

### 6 その他注意事項

- 1) 大学修了見込みで出願した者で、2021年9月までに修了できない者は入学を取り消します
- 2) 4学歴の1)に該当しない場合、事前に審査を受ける必要があるため、2021年1月12日までに本専攻の指導教員予定者に必ず申し出てください。

## 応募手続

応募者は所属学部長等、有職者は所属長、無業者は出身大学の研究科長を通して、下記の書類を2021年1月29日(必着)までに提出してください。(すべての応募者はあらかじめ本学工学府の教員と連絡を取り合い、受入許諾を受けてから出願してください。)

### 1) 提出先

必ず国際郵便等で本学府の指導予定教員へ郵送してください。また、個人としての応募は受け付けません。

### 2) 提出書類

- ① 入学申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
- ② 写真票・受験票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
- ③ 最終出身大学(大学院)の修了証明書または修了見込証明書・成績証明書・学位記等証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部
- ④ 在職(在籍)証明書(社会人のみ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 正本1部  
(主な職歴について、所属長等が作成した職務内容及び在職期間が明記された在職(在籍)証明書を提出してください。)
- ⑤ 研究業績一覧及び研究業績等の別刷(社会人のみ)・・・・・・・・・・ 正本1部  
(研究業績等(学術論文、研究発表・報告、特許等)について記入し提出してください。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出してください。)

- ⑥ 国籍身分を証明する書類（以下のいずれかの書類を提出）
- ・本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
  - ・パスポートの写し（取得済みの場合のみ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・写し1部

⑦ 入学検定料30,000円（本学所定の入学検定料払込用紙により支払ってください。）

なお、海外の応募者は指導教員予定者の指示に従ってください。）

※博士後期課程のみ提出（⑧～⑩）

⑧ 修士論文の概要(社会人以外)・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
 （修士論文の概要（和文2,000字もしくは英文500語以内にまとめてください。）

⑨ 研究計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
 （博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめてください。

なお、作成にあたっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておいてください。）

⑩ 志望理由書・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部

※一貫制博士課程のみ提出（⑪～⑬）

⑪ 研究成果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
 （これまでの研究成果を要約した概要を和文2,000字もしくは英文500語程度にまとめてください。）

⑫ 入学申請用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
 （①本専攻の志望動機、②研究成果の概要、③今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連について、それぞれ和文400字もしくは英文200語以内で記述してください。）

⑬ キャリアプラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部  
 （本専攻修了後の将来構想について、和文（2,000字程度）もしくは英文（250語程度）で記述してください。）

### 3) その他注意事項

- i) 申請書類は、すべて日本語又は英語により、出来るだけタイプを用いて、A4判両面印刷に統一して作成してください。（その他の言語により作成する場合は、日本語もしくは英語による訳文を添付してください。）
- ii) 提出書類は原則として返却しません。
- iii) 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎた場合は受理しません。
- iv) 提出書類及びその様式は変更することがあります。
- v) 入学検定料払込用紙は、事前に小金井地区事務部学生支援室入学試験係あてにご請求下さい。払込み後、「入学検定料払込受付証明書【大学提出用】」を出願書類に同封してください。

### 4) 選考及び合格通知等

- i) 選考は、提出された『応募手続き』の書類により審査します。
- ii) 合格通知は、2021年3月下旬までに、希望する本学工学府の指導予定教員から本人に通知します。
- iii) 授業及び研究指導は主として英語により行い、3年間で博士（工学）または博士（農学）、博士（学術）を取得させることを目的とし、在籍身分は正規の大学院生とします。

### 5) 入学時に要する経費

- i) 入学料282,000円
- ii) 授業料後期分（10月～3月）267,900円（年額535,800円）  
 （入学料及び授業料は改定されることがあります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。）
- iii) 学生教育研究災害傷害保険制度は、学生の正課および課外活動中における不慮の災害事故によって身体に傷害を被った場合の補償制度であり、新入生は全員加入してください。  
 保険料は、3年間分で2,600円です。



- iv) 学生賠償責任保険制度は、学生の正課、学校行事およびその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償制度であり、新入生は学生教育研究災害保険と共に全員加入してください。保険料は3年間で5,400円です。また、別途、消費生活協同組合への加入料の5,000円が必要となりますが、修了時に返金します。
- ※なお、保険料、加入料は変更になる場合があります。

#### IV 参考事項

- 1 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況について、あらかじめできるだけ研究しておいてください。また、授業以外の日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておかなければなりません。
- 2 大学案内、研究、教育内容等については、ホームページを参考してください。  
(<https://www.tuat.ac.jp/en/>)
- 3 出願時に入手した個人情報は、本学プライバシーポリシーに則って使用し、それ以外の目的には使用しません。
- 4 その他、本募集要項に関する問い合わせは、文書により行ってください。

##### 【問い合わせ先】

〒184-8588

日本国東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学大学院生物システム応用科学府

小金井地区事務部学生支援室入学試験係

FAX：(+81) 42-388-7013

## V アドミッションポリシーおよび教育研究分野教員一覧

### アドミッションポリシー（入学者受入方針）

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

### 教育研究分野教員一覧

#### 生物システム応用科学府

※の教員を志望する場合は、※の教員へ連絡して下さい

教育研究分野名	教 員 名
物質機能設計	教授 荻野賢司
	准教授 長津雄一郎
物質機能応用	教授 銭衛華
	准教授 稲澤晋
物質機能分析	准教授 橋本洋平
	准教授 中田一弥
生体医用フォトンクス	准教授 西舘泉
生体モデル知覚システム	教授 藤波香織
環境機械システム	教授 石田寛
	准教授 池上貴志 <sup>※</sup>
生体・環境応用システム	教授 上田祐樹
	准教授 岡野太治 <sup>※</sup>
資源生物創製科学	教授 梶田真也
	准教授 鈴木丈詞
物質エネルギーシステム	教授 神谷秀博
物質エネルギー設計	教授 富永洋一
エネルギーシステム解析	教授 秋澤淳
生物情報計測システム	教授 梶田晃司
生物応答制御科学	教授 梅澤泰史
生態系型環境システム	教授 豊田剛己
環境モニタリングシステム	准教授 赤井伸行 <sup>※</sup>

食料エネルギーシステム科学専攻

教育研究分野名	教 員 名
物質エネルギーシステム	教 授 神 谷 秀 博
物質エネルギー設計	教 授 富 永 洋 一
エネルギーシステム解析	教 授 秋 澤 淳
生体医用フォトニクス	准教授 西 舘 泉
生態系型環境システム	教 授 豊 田 剛 己
生物応答制御科学	教 授 梅 澤 泰 史
物質機能分析	准教授 中 田 一 弥